



→千葉と東京をむすぶ
国道6号線にかかる新
葛飾橋から見た矢切の
渡し。舟が小さく見える。
それはそれで、風情をかん
じる。



↑桜が咲いた。冬に咲く桜は、一輪ずつ暖かさを確かめるように花開くものだが、今年はずっと咲いた。これはこれで、眺めて通るにはいいが、やっぱり桜は春に咲くがいい。

「農家の人が言ってたけどさ、いま大変なんだってエ」

舟頭さんのボールが投げられた。それもストレートのような球筋なのに手元で変化するやつ。チェンジアップだ。

とりあえず探りを入れるめに、

「なにがア」

と聞いた。

「東北が大変だからって、キャベツやブロッコリーなどの野菜を東北に向けて出荷するんだって。ところが、みんな同じような考えで、たとえば北海道からも高く売れるからといって東北に出荷するんだって。だもんだから、東北はいま商品をだぶついていて値下がりをしてるそうだって」

なるほど、ありうる話だ。

あそこへ出荷すれば高く売れる。考えることは、みんな同じなのだ。金金金。ところで話は変わる。

ぶつぶつ、ぶつぶつ、世の中ぶつぶつとういコラムでも取り上げたが（十月二十八日のコラム）、矢切の渡しの田んぼで、植え方を間違えて、まるで直播きのようにイネが一行に生えなかつたから、機械がはいらないと刈り取られずに放置された田んぼを情けなく思ったし、日光

今週のクマ

→この日、クマは気分を変えるために、ゴルフ場につながれていたが、だれも相手にしてくれないものだから、おおあくびをしていた。



和歌山県の日高川沿いの町や村では全面水に浸かってしまい、倒れたイネから目がでていた。

に行く途中に見た台風で倒れた田んぼを刈り取らずに放置していたのを、元百姓の生まれの私としては、イネに成り代わって怒ってやったが、このたび和歌山県に出かけ、十二号台風の大雨で被害を受けた日高川沿いを歩いてみて思った。刈り取られない田んぼを見て、怒ればいってもじゃないんだと……。

日高川沿いの田んぼは、のきなみ水に浸かり、イネがすっかり田んぼに寝てしまっていた。刈り取るうにも刈れないことだつてあるんだということを知った。

しかし、よくよく考えてみたら、機械もはいらないようになってしまったら、刈り取らなくていいや、と考える、あるいは考えさせる、その要因はなんなのだろうと感えた。

結局、いまの人たちは、金をだせば買えるんだから、無理をして疲れることはないよ。買えばいいんだから……。

かんたんには、そう感える人たちが多くなってきた。これは、大いに悲しむことだし、嘆いてほしい。金がすべてじゃないことを知ってほしい。

たとえ一粒でも米を大切にすると、そんな心を持ち続けて欲しい。